

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	北上市宅地耐震化推進事業（防災・安全）												
計画の期間	令和02年度～令和02年度（1年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	北上市												
計画の目標	マップ作成により明らかになった大規模盛土造成地について、地震等による被害を未然に防ぐため、造成地の安全性確認調査を実施する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	7	A	7	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 $C / (A + B + C + D)$	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値	最終目標値 (R2末)
1	第二次スクリーニング計画の作成 第二次スクリーニング計画の作成のための調査	26箇所	箇所	26箇所

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	北上市	直接	北上市	-	-	北上市宅地耐震化推進事業(防災・安全)	第二次スクリーニング計画の作成	北上市						7	-	
												小計						7	
												合計						7	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 北上市都市整備部内部評価委員会にて事後評価を実施。	事後評価の実施時期 令和5年3月
	公表の方法 北上市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	第二次スクリーニング計画の作成（優先度評価）を行い、第二次スクリーニング（地盤調査）の候補箇所は存在しないといった評価結果を得た。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
対象地の擁壁等について経過観察することとし、その結果、異状が認められた場合は、改めて第二次スクリーニングの実施を検討していく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	第二次スクリーニング調査（優先度評価）完了地点数	
	最終目標値	26箇所
	最終実績値	26箇所